

4月の農薬

No. 1 - 1

平成25年4月5日

「安全・安心な農産物づくり」のために農薬の適正使用を徹底しましょう。

水 稲

- ①種子消毒は、塩水選の耕種的防除と薬剤処理のセットで行いましょう。
- ②微生物資材は、保存する際、冷暗所に保管してください。（常温での保管は避けてください）

（種子消毒）

主な病害	農薬名	規格	譲渡書	時期	主な使用方法	使用薬量	
						種子量	薬量・水量
ばか苗病・いもち病	ベンレートT水和剤20	100g 500g	-	浸	①湿粉衣法 乾燥剤重の0.5%粉衣	10kg 20kg	50g 100g
					②高濃度短時間処理法 20倍（500g/10ℓ） 10分間浸漬	10kg	1kg/ 20ℓ
ばか苗病・いもち病（苗立枯）	テクリードCフロアブル	100ml 500ml	-	種前	①高濃度短時間処理法 20倍（500ml/10ℓ） 10分間浸漬 ※種子塗抹処理については取扱メーカーにご確認をお願いします。	10kg	1,000ml/ 20ℓ
					②低濃度長時間処理法 200倍（50ml/10ℓ） 24時間浸漬	10kg	100g 100ml/ 20ℓ
ばか苗病・いもち病（苗立枯）	タフブロック	100g 500g	-	催芽	①24～48時間浸漬処理 200倍（50ml/10ℓ） 微生物資材なので、風乾は省略する	10kg 20kg	100ml/ 20ℓ 200ml/ 40ℓ
					②24～48時間浸漬処理 200倍（50ml/10ℓ） 微生物資材なので、風乾は省略する ※催芽時処理の場合は24時間種子浸漬する。	10kg 20kg	100g/ 20ℓ 200g/ 40ℓ

注意：1. 薬剤消毒前に塩水選を行ない、水洗した種もみの水を切り、上記のいずれかの方法で消毒する。薬剤を固着させるため、処理後2～3日間はひろげて陰干し後、浸種する。（テクリードCフロアブルは省略可）浸種時、水は2～3日かえない。
2. 使用後の薬剤は河川、池、沼や水路には絶対捨てないこと。
3. 微生物資材は風乾すると効果が落ちるので、浸漬後、そのまま浸種する。
4. タフブロック、エコホープDJを使用する場合、嵐剤の床土混和は種時処理、緑化期処理はしない。

散布時期	農薬名	規格	譲渡書	時期	主な対象病害虫	主な使用方法・使用薬量
育苗期	ダチガレエースM粉剤	1kg 3kg	-	は種前	フザリウム ピシウム	は種5～7日前に1箱当り6～8g、床土・覆土に均一に混合する。（1kg1袋で166～125箱分）
	ダコニール粉剤	3kg	-	は種前	リゾープス（白カビ）	は種時に1箱当り15～20g、育苗箱土壌に均一に混和する。（3kg1袋で150箱分）
	タチガレエースM液剤	100ml 500ml	-	は種時又は発芽後	フザリウム ピシウム リゾープス	ダコニール1000と混用の場合は種時に500倍（各薬剤20ml/10ℓ）になるよう混合し、1箱当り500ml灌注
	混用可能（は種時） ダコニール1000	250ml 500ml	-	は種時	リゾープス（白カビ）	500～1,000倍（20ml～10ml/10ℓ）を1箱当り500ml灌注
	ダコニール1000	250ml 500ml	-	は種時	フザリウム ピシウム	は種後10日頃に500倍液（20ml/10ℓ）を箱当り500ml灌注（100ml1本で100箱分）
	タチガレン液剤	100ml 500ml	-	発は種時及び後		

注意：タチガレン液剤・粉剤とダコニール粉剤、ダコニール1000の使用は、必ず5日以上の間隔をとる。

散布時期	農薬名	規格	譲渡書	時期	主な対象病害虫	主な使用方法・使用薬量
育苗期	嵐プリンス箱粒剤6	1kg 10kg	-	は種前	いもち病 紋枯病 イナゴ類 ニカメイチュウ	育苗箱の床土に均一に混和する。（50g/1箱当り）
				当土前 移植日	イネドロオウムシ イネミズゾウムシ	育苗箱の上から均一に散布する。（50g/1箱当り）

注意：低温で発芽抑制や生育抑制を生じるおそれがあるので温度管理に注意する。
※嵐剤・オリブ剤（イモチエース剤）、アミスター剤は同一成分とみなし、耐性菌出現防止のため連用は避ける。

水稲の育苗箱施用薬剤は種類によって、育苗箱からこぼれた場合や薬剤処理後のかん水によって、農薬成分が土壌に残留し、後作物で栽培した野菜に吸収され適用外成分として検出されることがある。このため、後作で野菜を栽培するハウス内では以下の事項を厳守する。
1. 水稲育苗箱施用薬剤を処理した苗の育苗は行わない。
2. 水稲育苗箱施用薬剤は処理しない。

りんご

- ①本年は生育が平年並で生育しています。生育状況をよく観察して、適期を逃さず防除して下さい。（発芽期に注意してください）

散布時期	農薬名	規格	譲渡書	主な対象病害虫	倍水100ℓ当り薬量	10a当り散布量（薬量）	備考
発芽前まで	ハーベストオイル	4ℓ 20ℓ	-	ハダニ類 カイガラムシ類	50倍 2ℓ	350ℓ （7ℓ）	いずれか 混
	スプレーオイル	10ℓ 20ℓ	-				
	ベフラン液剤25	500ml	○	腐らん病	500倍 200ml	350ℓ （350g）	いずれか 用
	トップジンM水和剤	250g 500g	-		1,000倍 100g		
展葉期（発芽後2週間まで）	ストライド顆粒水和剤	333g	-	黒星病 モニリア病	1,500倍 67g	350ℓ （350g）	単用
	休眠期及び発芽時の散布を省略し、この回から散布開始する場合						
	ハーベストオイル	4ℓ 20ℓ	-	ハダニ類 カイガラムシ類	100倍 1ℓ	350ℓ （3.5ℓ）	いずれか 混
	スプレーオイル	10ℓ 20ℓ	-				
発芽後2週間直後	トップジンM水和剤	250g 500g	-	腐らん病 モニリア病	1,000倍 100g	350ℓ （350g）	用
	デランフロアブル	500ml	-	黒星病 モニリア病			
	（モニリア病対策）葉ぐされの発生がある場合に散布する						
	トップジンM水和剤	250g 500g	-	モニリア病	1,000倍 100g	400ℓ （400g）	
開花直前	インダーフロアブル	100ml	-	モニリア病 黒星病	5,000倍 20ml	400ℓ 80ml	いずれか ハマキムシの多い園で混用
	アンビルフロアブル	500ml	-	モニリア病 星形病 赤うどんこ	1,000倍 100g	400ℓ （400g）	
	サンリット水和剤	250g （125g×2）	-		4,000倍 25g	400ℓ （100g）	
	マトリックフロアブル	500ml	-	ハマキムシ （ミダレカクモンハマキ）	2,000倍 50ml	400ℓ （200ml）	
	バイオマックスDF	335g 500g	-	ハマキムシ （ミダレカクモンハマキ）	2,000倍 50g	400ℓ （200g）	
	フェニックスフロアブル	250ml 500ml	-	ハマキムシ類 キンモンホソガ ギンモンハモグリガ	4,000倍 25g	400ℓ （100g）	
サムコルフロアブル10	200ml 500ml	-	ハマキムシ類	5,000倍 20ml	400ℓ 80ml		

※この時期、アブラムシ類の発生が多い場合は、ウララDF2,000倍（展葉初期）を開花期間を除き散布する。（早朝）

すもも

散布時期	農薬名	規格	譲渡書	主な対象病害虫	倍水100ℓ当り薬量	10a当り散布量（薬量）	備考
休眠期	石灰硫黄合剤	10ℓ 18ℓ	-	ふくろみ病 ウメシロカイガラムシ	10倍 10ℓ	400ℓ （40ℓ）	混用には注意
	スプレーオイル	10ℓ 20ℓ	-	カイガラムシ	50倍 2ℓ	400ℓ （8ℓ）	
開花前	ロブラール水和剤	100g 500g	-	灰星病	1,000倍 100g	400ℓ （400g）	

農薬の使用基準は農薬容器のラベルに記載されています。農薬の使用に際しては、ラベルをよく読んで確認して下さい。



もっと近くに。

全農山形県本部 生産資材部

お問い合わせの電話番号
023-634-8157

FAX番号
023-634-8182

農薬はJAマークの製品を！

先入れ先出しの励行を！

4月の農薬

No. 1 - 2

平成25年4月5日

「安全・安心な農産物づくり」のために農薬の適正使用を徹底しましょう。

おうとう

1. ハダニおよびカイガラムシ対策は休眠期から始まっています。下草の管理と合わせて適正に実施しましょう。

散布時期	農薬名	規格	譲渡書	主な対象病害虫	倍数 水100ℓ 当り薬量	10a当り 散布量 (薬量)	備考
休眠期	石灰硫黄合剤	10ℓ 18ℓ	-	カイガラムシ ハダニ (炭そ星病)	10倍 10ℓ	400ℓ (40ℓ)	混用には注意。 (混用方法 -下図) いずれか
	スプレーオイル	10ℓ 20ℓ	-		50倍 2ℓ	400ℓ (8ℓ)	
	ハーベストオイル	4ℓ 20ℓ	-				
風船状開花前	4-4式ボルドー (ICボルドー66D)	生石灰 20kg	-	灰星病 (炭そ星病)	生石灰 400g	400ℓ 生石灰 1.6kg	いずれか
		硫酸銅 10kg 20kg	○		硫酸銅 400g	硫酸銅 1.6kg	
	オーソサイド水和剤	250g 500g	-		800倍 125g	400ℓ (500g)	混用可
バイオマックスDF	335g 500g	-	ハマキムシ類	2,000倍 50g	400ℓ (200g)	混用可	
開花直前	サンリット水和剤	250g (125g×2)	-	灰星病 幼果菌核病	2,000倍 50g	400ℓ (200g)	

注意：訪花昆虫保護のため、開花1週間前から巣箱を撤去するまではバイオマックスDF(満開7日後にフェニックスフロアブル散布可)以外の殺虫剤を散布しない。

もも

1. 管内全域で、せん孔細菌病の発生が多くなっているようです。必ず、開花始めにICボルドー412を散布してください。

散布時期	農薬名	規格	譲渡書	主な対象病害虫	倍数 水100ℓ 当り薬量	10a当り 散布量 (薬量)	備考
発芽前まで	オキシラン水和剤	500g 1kg	-	縮葉病	500倍 200g	350ℓ (700g)	いずれか カイガラ・ ハダニの 多い園では 混用散布 する
		1ℓ 2ℓ	-				
	スプレーオイル	10ℓ 20ℓ	-	カイガラムシ ハダニ	50倍 2ℓ	350ℓ (7ℓ)	
開花直前	ICボルドー412	5kg・10kg	-	(炭そ病) せん孔細菌病	30倍 3.3kg	350ℓ (11.7kg)	

西洋なし(ラ・フランス)

1. 輪紋病、胴枯病の防除を徹底しよう。

散布時期	農薬名	規格	譲渡書	主な対象病害虫	倍数 水100ℓ 当り薬量	10a当り 散布量 (薬量)	備考
発芽前	石灰硫黄合剤	10ℓ 18ℓ	-	輪紋病、胴枯病 ハダニ	10倍 10ℓ	250ℓ (25ℓ)	混用散布に 注意。 (混用方法- 下図) いずれか
	スプレーオイル	10ℓ 20ℓ	-	ハダニ カイガラムシ	50倍 2ℓ	250ℓ (5ℓ)	
	ハーベストオイル	4ℓ 20ℓ	-				
開花直前	インダーフロアブル	100mℓ	-	黒星病、輪紋病	5,000倍 20mℓ	250ℓ (50mℓ)	
	バイオマックスDF	335g 500g	-	ハマキムシ類	2,000倍 50g	250ℓ (125g)	
	フェニックスフロアブル	250mℓ 500mℓ	-	ハマキムシ類 シンクイムシ類 ケムシ類	4,000倍 25g	250ℓ (63g)	
落花1週間後	トップジンM水和剤	250g 500g	-	胴枯病 輪紋病	1,500倍 67g	450ℓ (300g)	

マシン油剤50倍と石灰硫黄合剤10倍の混用方法 (100ℓ作る場合)

おうとう (ハーベストオイル・スプレーオイル)

もも (スプレーオイル)

西洋なし (ハーベストオイル・スプレーオイル・スピンドロン乳)

石灰硫黄合剤

出来あがり



注意：混用後は分離しないように散布終了までかくはん機を絶対止めないこと。(薬害防止)

ぶどう

薬剤散布前に粗皮けずり、前年の房の取り残し部分、巻ヒゲ及び結果母枝の枯死部分などの除去を徹底する。(耕種的防除を積極的に実施しましょう)

散布時期	農薬名	規格	譲渡書	対象病害虫	倍数 水100ℓ 当り薬量	10a当り 散布量 (薬量)	備考
休眠期 (4月上旬)	ベフラン液剤25	500mℓ	○	晩腐病 黒とう病	250倍 400mℓ	300ℓ (1,200mℓ)	加用散布
	ラビキラー乳剤	500mℓ	○	ブドウトラカミキリ	300倍 333mℓ	300ℓ (1ℓ)	
発芽直前 (4/下)	石灰硫黄合剤	10ℓ 18ℓ	-	(褐斑病) ブドウサビダニ カイガラムシ類	20倍 5ℓ	300ℓ (15ℓ)	前回の散布から7~10日間隔をあけて散布する。

果樹の除草剤

1. 除草剤使用後の防除器具は、良く洗浄する。
2. 散布は飛散防止のため晴天無風の時に
行なう。

散布時期	農薬名 (主な登録作物)	規格	譲渡書	10a当り 使用量	効果発現	持続期間	特性と作用
春夏期 雑草生育期	ザクサ液剤 (グルホシネートP)	500mℓ 2ℓ	-	1年生雑草 300~500mℓ 多年生雑草 500~1,000mℓ 水量 100~150ℓ	2~ 5日後	40~60日	展着剤不要 年間使用回数3回以内 収穫前日まで (キウイフルーツ、りんごは収穫21日前まで)
	キウイフルーツ りんご・果樹類	5ℓ					
	バスタ液 (グリホシネート)	500mℓ 2.2ℓ 10ℓ	-	1年生雑草 300~500mℓ 多年生雑草 500~750mℓ 水量 100~150ℓ	2~ 5日後	40~60日	1年生雑草及びスギナに効果大。 展着剤不要 年間使用回数3回以内 収穫前日まで (ただし、くりは30日前、りんご、キウイフルーツは収穫21日前まで)
梅雨明け 夏草雑草生育盛期・ 秋期越年生雑草	ラウンドアップマックスロード 〔グリホサート〕 カリウム塩	500mℓ 2ℓ	-	1年生雑草 250~500mℓ 多年生雑草 500~1,000mℓ 水量 少量散布 水25ℓ 通常散布 50~100ℓ	3~ 14日後	50~70日	ギシギシ、ヨモギ、タンポポ、チガヤ等に効果大。雑草の生育盛期~開花始期に使用。秋処理は翌春の除草効果が高い。年間使用回数3回以内展着剤不要収穫7日前まで
	おうとう・ぶどう うめ・りんご なし・かき もも・くり 果樹類	5.5ℓ 20ℓ 200ℓ					
	非農耕地 スギナ	2,000mℓ 水量 25~50ℓ					25倍処理でスギナ生育期散布は効果が高い。
※	カルナクス 〔グリホサート〕 イソプロピルアミン塩	500mℓ 2ℓ 20ℓ	-	1年生雑草 250~500mℓ 多年生雑草 500~1,000mℓ 水量 50~100ℓ 少量散布 25~50ℓ	7~ 14日後	50~70日	1年生雑草から、ヨモギ、ギシギシなど多年生雑草まで効果が高い。年間使用回数3回以内展着剤不要収穫7日前まで
	りんご・ぶどう なし・もも うめ・おうとう 果樹類						
※	草枯らしMIC 〔グリホサート〕 イソプロピルアミン塩	500mℓ 1ℓ 2ℓ 5ℓ	-	1年生雑草 250~500mℓ 多年生雑草 500~1,000mℓ 水量 少量散布 水25~50ℓ 通常散布 50~100ℓ	7~ 14日後	50~70日	ギシギシ、ヨモギ、タンポポ、チガヤ等に効果大。雑草の生育盛期~開花始期に使用。秋処理は翌春の除草効果が高い。年間使用回数3回以内展着剤不要収穫7日前まで
	りんご・なし ぶどう・もも おうとう・うめ すもも・かき 果樹類						